

診療科のご案内

－病 院 の 理 念－

良質な医療を行い、地域医療に貢献し、
利用者から信頼される病院を目指します。

基 本 方 針

- 1、患者様の視点に立った医療を行います。
- 2、安全で確実な医療を重視しています。
- 3、医療サービスに努め、患者様に十分な情報を提供します。
- 4、他施設との連携を密にし、効率的な医療を行います。
- 5、住民の皆様から喜んでいただくことに働きがいを感じます。

有田市立病院

〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町6番地

TEL 0737-82-2151 (代表)

FAX 0737-82-5154

はじめに

私ども有田市立病院は、表紙の当院理念すなわち「良質な医療」「地域医療への貢献」「利用者からの信頼」および基本方針に則り、有田地方の中核をなす総合病院としての役割と機能を果たすべく、可能な限り救急診療体制の維持・充実に努めるとともに、住民の信頼に応える安全で良質な医療を行っております。さらに公的病院の立場から障害者・高齢者への福祉・自立支援を積極的に促す医療を進めています。

特に今後、拡大する高齢化社会に向けて、高齢者に優しい医療に特に力を入れていく所存です。具体的には、白内障や脳血管疾患など高齢化に伴う疾患を扱う診療科の開設と強化、専門ドック開設と最新機器の活用による動脈硬化性疾患の早期発見と積極的医療介入、内視鏡手術など身体への負担を軽くする医療の奨励、訪問看護・訪問リハの充実などをこれからの命題としております。

この診療科案内とは別に、当院の詳細・トピックスなどについては、ホームページを開設しており、「有田市立病院」の入力から入っていただければご覧いただけます。従来にも増し皆様方との医療連携を深め、共にこの地域の医療の向上に役立ちたいと願っております。ぜひ本冊子やホームページをご活用賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 2 月

有田市立病院
病院長 尾野 光市

● 診療科及び医師の紹介

1. 内科
2. 循環器科
3. 脳神経科
4. 外科
5. 整形外科
6. 産婦人科
7. 小児科
8. 泌尿器科
9. 耳鼻咽喉科
10. 眼科
11. 皮膚科



※脳神経科、耳鼻咽喉科は現在医大からの応援医師で対応していますので、ここでの紹介は控えさせていただきます。

外 来 診 察 表

平成 23 年 2 月 1 日現在

診 療 科		月	火	水	木	金	
内 科	1 診 初診・再診	中	山 下	土 屋	山 下	近 藤	
	2 診 予約診	近 藤	土 屋	山 下	近 藤	土 屋	
	3 診 生活習慣病	/	中	/	/	中	
循環器科	1 診 初診・再診	笠 松	坊 岡	坊 岡	坊 岡	柊 野	
	2 診 予約診	坊 岡	笠 松	坊 岡	笠 松	野 尻	
	3 診 予約診	野 尻	/	野 尻	/	/	
脳神経科		/	/	/	/	北 山	
外 科	1 診	植 村	大 西	院 長	大 西	院 長	
	2 診	/	/	/	/	植 村	
整形外科		栗 本	橋 本	栗 本	橋 本	栗 本	
産婦人科		藤 永	今 井	藤 永	藤 永	今 井	
小 児 科	午前	1 診	紀 平	南	田 村	紀 平	杉 本
		2 診	/	紀 平	/	/	紀 平
	午後	予約診	発達相談 紀 平	予防接種※1 紀 平	心身症 大 石 (第 2 週)	1 ヶ月健診 紀 平	遺伝外来 月 野
				発達外来※2 紀 平		心外来※3 平 山	予約外来 紀 平
眼 科		南 出	南 出	南 出	岡 田	南 出	
耳鼻咽喉科		医 大	/	/	田 村	医 大	
泌尿器科		宮 井	渡 辺	宮 井	渡 辺	宮 井	
皮 膚 科		吉 益	吉 益	貴 志	吉 益	上 中	

消化器検査	午前	胃カメラ 腹部エコー	院長/山下	植 村	近 藤	土 屋	大 西
		胃透視	放射線技師	放射線技師	放射線技師	放射線技師	放射線技師
	午後	大腸ファイバー	土 屋	院長 大西 植村	院長 大西 植村・近藤	土 屋	/
	午前 午後	甲状腺エコー 頸部エコー	/	/	/	土 屋	/
循環器検査	午前	心エコー	/	野 尻	/	/	/
	午後		臨床検査技師	/	臨床検査技師	/	/
		心カテ	/	/	/	笠松 野尻 坊岡	/
		冠動脈 CT	/	/	笠 松	/	笠 松

※1 第 2,4 週

※2 第 1,3,5 週

※3 第 3 週

内 科

医師スタッフ

中 啓吾（副院長）
土屋 等（内科医長）
近藤 環
山下理一郎

診療科の特色

○糖尿病／代謝（メタボリックシンドローム、生活習慣病）／内分泌部門

平成19年2月に日本糖尿病学会認定教育施設に認定されました。和歌山県立医大第1内科からの4名の医師（うち専門医1名）で月曜日から金曜日まで毎日生活習慣病、糖尿病患者さんへの対応を行っています。血糖コントロールの困難な症例や、定期的な短期間の合併症精査目的の入院もお引き受けいたします。

（実際には、糖尿病歴の長い方、合併症の進んだ方、どうしてもうまく血糖コントロールできない方もおられると思います。そのような方々にもできるだけ重大な状態に陥らないためにご家族をふくめた生活指導を行いたいと考えております。）

病状の安定した患者さんについては、当方から積極的に逆紹介させていただきますのでよろしくお願いたします。

甲状腺エコー、頸動脈エコー検査も紹介いただければ行なわせていただきます。



☞糖尿病教室

午後2時から、病院1階の栄養指導室で入院・外来を問わず、患者様・ご家族の方を対象に、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士が講師になり、月に10講座の糖尿病教室を開いています。講義日程に関しては病院ホームページ (<http://www.aridahp.arida.wakayama.jp/index.html>) をご覧になるか内科外来（内線200）または栄養管理科（内線180）にお問い合わせください。

☞有田糖尿病友の会（糖尿病患者とその家族）「橘徒会（きつとかい）」

糖尿病についての正しい療養の知識を得ていただき、また同じ疾患を持つ仲間としての相互の親睦を図ることを目的として、平成18年9月に設立いたしました。



○消化器部門

平成17年から日本消化器病学会教育関連施設認定を受けています。

- ・上部消化管内視鏡検査：通常内視鏡検査、経鼻内視鏡検査
- ・上部消化管内視鏡治療：内視鏡的止血術、食道静脈瘤硬化療法、食道静脈瘤結紮術、内視鏡的胃瘻増設術
- ・下部消化管：大腸内視鏡検査、内視鏡治療

内視鏡治療に関しては内視鏡的止血術をはじめ、当院外科の先生方と連携し、入院のうえ内視鏡的ポリープ切除術、早期がんの内視鏡的粘膜切除術を行っています。

大腸ポリープの切除の治療は、原則として、検査後に入院していただき、翌日の状態で退院をしていただきます。しかし、検査の前処置が心配な方や、ご高齢の方、当日だけの前処置だけでは、十分でない方は検査の前日に入院していただき、看護師の観察のもとで安心して前処置を受けていただいています。



※肝血管造影検査・治療

和歌山県医大の消化器内科からの医師派遣がなくなったため、常勤の医師は勤務していませんが、開業された天野善生先生（あまの内科クリニック院長）が治療必要時に日程の調整をしてくださり、引き続き肝動脈塞栓術などの血管造影検査・治療を受けていただけます。



○一般内科

循環器疾患を除く一般内科疾患領域の診療をおこなうことを原則としておりますが、膠原病・ネフローゼ症候群などの腎臓疾患のような専門的検査治療が必要な患者様に関しては、和歌山医大や日赤医療センターに紹介させていただきます。血液透析設備がないため、人工透析治療や除水治療なども当院では対応できません。気管支鏡検査も現時点では行っておりません。

医師の紹介



副院長 中 啓吾

自治医科大学 昭和58年卒業

【専門・得意分野等】

一般内科、内分泌代謝

一般内科診療とともに最近増加が著しい糖尿病患者の診療に主に携わってきましたが、なかでも慢性合併症の診療において早期発見と早期治療を心がけ啓蒙に努めてきました。また、健康診断を通じてメタボリック シンドロームや糖尿病以外の生活習慣病全般にわたっての予防の重要性も実感しており、効果的な指導についても検討していきたいと考えています。

【医療連携医へのメッセージ】

糖尿病の患者数は2020年には約1,400万人に増えるとも予測され、それにともない糖尿病の合併症に苦しむ患者も増加すると推測されています。終末像である失明、透析、下肢切断などへの進展防止のために、早期診断のための定期的合併症検査や血糖コントロール不良時の教育入院を患者さんにおすすめしています。

今後は循環器科、脳神経外科、眼科との連携をこれまで以上に密にして、より細やかな診療サービスに努めていきたいと思えます。

現在、2週間を基本としたクリティカルパスを準備中であり、血糖悪化時の一時インスリンによるコントロールやその後再び経口薬に戻して退院していただくことも可能です。



内科医長 土屋 等

【専門・得意分野等】

山口大学医学部 平成9年卒業
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会認定内科医

糖尿病、消化器、一般内科

検査：上部・下部内視鏡検査、腹部・甲状腺・頸動脈エコー

【医療連携医へのメッセージ】

平成17年4月1日より当院へ赴任して参りました。前任の新宮市立医療センターでは、地域連携室を中心として病診連携に取り組み、紹介率30%以上の達成に貢献して参りました。今後も病診連携に対する基本姿勢は変えることなく、地域の皆様のために努力したいと思っております。

消化器疾患、呼吸器疾患を中心とした一般内科および糖尿病・内分泌・代謝疾患について担当させていただきます。



兵庫医科大学 平成8年卒業
日本内科学会認定内科医

内科医師 近藤 環

【専門・得意分野等】

一般内科、糖尿病

【医療連携医へのメッセージ】

内視鏡的胃瘻造設術について

現在の高齢化社会においては、脳梗塞、加齢、認知症などのため誤嚥性肺炎を起こす方が増加しています。長期間の経鼻経管栄養をおこなっている方に、内視鏡的胃瘻造設術をおすすめしたいと考えています。胃瘻患者さんを受け入れて下さる先生方、施設の皆様からのご提案、ご協力をお待ちしております。



循環器科

医師スタッフ

常 勤 笠松 謙 (循環器科医長)

野尻 庸功 (検査科医長)

坊岡 進一

非常勤 和歌山県立医大循環器内科医師

診療科の特色

当科では、心臓病・高血圧症・大動脈疾患などを主として拝見しております。

当科（当院）で施行可能な検査としまして、ホルター心電図（長時間心電図）、トレッドミル運動負荷心電図検査、心エコー・ドプラ検査、経食道心エコー検査、血圧脈波検査（ABI）、CT 検査、心臓カテーテル検査などです。

2007年春に導入された64列 MDCT 装置を用いまして、有田市・有田郡では冠動脈 CT ができる唯一の施設となりました。

冠動脈 CT と心臓カテーテルによる冠動脈造影にはそれぞれ長所・短所がありますが、外来で施行可能な CT で冠動脈の状態がほぼ分かるということは大きなメリットだと思います。

血管系の疾患に関しては、従来の CT でも大動脈瘤の診断は可能ですが、この CT を用いますと、立体画像の構築が容易で、より理解しやすい画像を得ることができます。

昨年来の経験で、頸動脈・腎動脈・下肢動脈などの狭窄や閉塞の診断にも有用であることを実感しております。

徐脈性不整脈の患者さんで、適応のある症例には、以前から引き続き、永久ペースメーカー植え込み手術を行っております。

PCI（経皮的冠動脈インターベンション）は、待機的な症例は行っておりますが、冒頭で申し上げた様に、多数の患者さんの外来診療に相当な時間を費やしており、緊急カテーテルに対応できない状態が続いており、この点は誠に申し訳なく思っております。

医師の紹介



和歌山県立医科大学 昭和52年卒業
認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医

検査科医長 野尻庸功

【専門・得意分野等】

心臓カテーテル検査、PCI



大阪医科大学 平成6年卒業
医学博士
認定内科医
心臓リハビリテーション指導士
日本循環器学会認定循環器専門医

循環器科医師 坊岡進一

【専門・得意分野等】

循環器全般

特殊技術：カテーテル検査、経皮的冠動脈インターベンション、ペースメーカー手術

【医療連携医へのメッセージ】

有田地方は私の故郷でもあり、この地方の循環器医療の発展のため微力を尽くす覚悟でございますのでよろしくお願いします。



外 科

医師スタッフ

尾野 光市（院長）
大西 博信（外科医長）
植村 隆一郎

診療科の特色

当科は主に一般外科、消化器外科を診療内容とし、地域に貢献する外科を目指しています。手術日は月曜日と木曜日の週2日です。当院の地域性から高齢者の手術症例が多いようですが、十分術前評価をした上で積極的な手術の方針をとるようにしています。日本内視鏡外科学会技術認定医による腹腔鏡下胆嚢摘出術（軽度の炎症の場合はできるだけ小さな手術創で施行）を行っています。

検査は火曜日、水曜日に行っており、上部・下部消化管内視鏡検査および治療をはじめ、肝胆膵領域の内視鏡診断（ERCP、膵液細胞診）および治療（内視鏡的乳頭切開術、切石、ステント挿入）を行っています。昨年より内視鏡的粘膜下層剥離術を施行しています。

3名のスタッフは日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会の専門医、指導医で、当院は日本内視鏡学会、日本消化器病学会の認定施設で、日本外科学会、日本消化器外科学会の専門医制度関連施設の指定を受けています。

医師の紹介



和歌山県立医科大学 昭和52年卒業
医学博士
日本消化器外科学会指導医 日本外科学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

病院長 尾野光市

【専門・得意分野等】

一般消化器外科

【医療連携医へのメッセージ】

当院にお世話になって早や5年目になりました。当地は高齢層の患者さんが多いですが、術後はみなさん結構お元気に経過される方が多いようです。術前の評価を十分に吟味し、根治手術を考慮しつつも無理はせず、バランスのとれた手術をめざしたいと思っています。





鹿児島大学医学部 昭和63年卒業

医学博士

日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医

日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器病学会専門医

日本大腸肛門病学会専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医

日本肝胆膵外科学会評議員 近畿外科学会評議員

外科医長 大西博信

【専門・得意分野等】

消化器外科一般（特に肝胆膵外科および、腹腔鏡下胆嚢摘出術を含めた内視鏡外科手術）

肝胆膵領域の画像診断および内視鏡診断（ERCP、膵液細胞診）

内視鏡治療（特にEST、ステント挿入、大腸内視鏡治療、内視鏡的粘膜下層剥離術）

巻爪の治療

【医療連携医へのメッセージ】

平成19年4月和歌山労災病院より転勤して来ました。和歌山労災病院では第4外科部長と内視鏡センター長を任せられ、消化器外科手術および、肝胆膵領域の内視鏡検査および治療を中心に、大腸内視鏡、早期胃癌の内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行なっていました。有田市立病院でも胃のESDを10例、大腸のESDを1例に施行しました。

日本内視鏡外科学会技術認定（消化器・一般外科）を取得し、有田市立病院外科でも、内視鏡外科手術を普及させようとしています。特に、できるだけ小さい傷で腹腔鏡下胆嚢摘出術を行っています。炎症の強い症例は従来の12mm、12mm、5mm、5mm、の創で手術を行いますが、軽度の炎症の場合は12mm、5mm、3mm、3mmの創で胆嚢摘出術を施行します。また、和歌山労災病院で行っていた大腸癌に対する腹腔鏡下手術も行っていきたいと思えます。

“遠くに行かなくても、有田市立病院で内視鏡外科技術認定医による腹腔鏡下手術が受けられるようになりました。”

平成19年4月より当院に64列の超高速CT装置が導入され、小さい膵癌を見つけられる環境が整っています。腹部CTおよびERCPによる膵癌の早期診断や膵嚢胞性疾患の鑑別診断が可能ですので、ご紹介をいただきたいと思います。



整形外科

医師スタッフ

栗本 公博（整形外科医長）
橋本 忠晃

診療科の特色

当院整形外科は、上記の常勤医師2名で診療を行っています。外来診療は1診制で月曜日から金曜日（祝日及び年末年始は除く）、手術日は火曜日と木曜日の週2回です。

手術内容としましては、半数以上が骨折に関するものですが、高齢者の人工関節置換術（膝・股関節）が増加傾向にありまして、術前2～3回（週1回）の自己血貯血に始まり、手術後、早期リハビリにより3～4週間での退院が可能です。また、腰椎椎間板ヘルニアでは、患者様の希望により、MED（内視鏡下手術）を施行しています。こちらは約1～2週間程度の入院にて日常生活復帰可能であり、両者とも術後患者様の満足度の高い良好な成績を得ています。

医師の紹介



和歌山県立医科大学 昭和57年卒業
整形外科専門医

整形外科医長 栗本公博

【専門・得意分野等】

外傷一般、関節外科

【医療連携医へのメッセージ】

最近の股関節、膝関節の人工関節はかなり安定した成績となっております。股関節痛、膝関節痛にてADL障害の強い患者様がおられましたらご紹介ください。

産婦人科

医師スタッフ

常勤 藤永 宏行（産婦人科医長）
今井 秀彰
非常勤 和歌山県立医大産婦人科医師

診療科の特色

産科（分娩）

できるだけ自然の経過に逆らわない妊・産婦管理を心がけています。異常が起こらないように、妊娠中から個人個人に合わせた指導を行い、また異常の早期発見にも努めます。妊婦健診時の超音波検査をできる限り多く行い、妊婦さん自身の目で、“赤ちゃん”を見ていただきたいと考えています。出産後の育児に困らないように、入院中に十分なアドバイスを行えるように心がけています。母児同室、母乳保育などどんなことでも遠慮なく相談してください。

婦人科（手術など）

特殊で高度な治療はできませんが、できるだけ安全な方法で手術などの治療を行いたいと考えています。個々の病状についてできるだけ詳しい説明をさせていただき、納得していただける医療を行えるよう心がけています。

医師の紹介



和歌山県立医科大学 昭和59年卒業
医学博士
日本産婦人科学会専門医

産婦人科医長 藤永宏行

【専門・得意分野等】

産婦人科全般

小児科

医師スタッフ

常勤	紀平 省悟	(小児科医長)
非常勤	南 弘一	(和医大医師)
	田村 彰	(和医大医師)
	月野 隆一	(桃山療護園医師)
	大石 興	(橋本市民病院)
	平山 健二	(平山こどもクリニック)

診療科の特色

小児科は外傷を除くあらゆる病気や問題をあつかう科です。そのためサブスペシャリティをもった非常勤医師の応援を得て対応します。また、私たちは学校や保健所や福祉の諸機関との関係が深く、教師や保育士、保健師、福祉士などとの連携を大切にしています。そのポリシーと活動は地域の子育てグループや障害児の親の会からも強い支持を得ています。

外来診療もまたこのような多様なニーズに応えようと、大きく午前の一般外来(☆)と午後の専門予約外来(★)に分けています。

☆一般外来(月から金曜日の午前中)

和歌山県立医科大小児科から非常勤医の応援を受け、診療を担っています。急性疾患がほとんどなので、原則として予約制はとっていません。従来どおり紹介状や電話でご依頼下さい。

★発達相談外来(紀平担当：月曜日・金曜日の午後)

発達障害(知能や言葉や運動の発達につまづきのある子ども)、不登校などの子どもの短期心理療法やカウンセリング、薬物治療を行います。

★発育外来(紀平担当：毎月第1・3・5の火曜日午後)

1ヵ月児の健診を行っています。育児情報の洪水のなかで孤立しがちな母親をエンパワメントするようにしています。授乳やマタニティ・ブルーなど様々な悩みには助産師による相談も受けられます。

★心身症外来(大石担当：毎月第2水曜日午後)

橋本市民病院から大石ドクターの応援を得ています。短期心理療法、漢方薬、小児鍼などを持ちいて、夜尿症や夜驚その他の心身症にも対応しています。

★心臓外来(平山担当：毎月第3木曜日午後)

有田川町の小児科開業医である平山健二医師は子どもの循環器の専門です。先天性心疾患などについて診断や治療の助言を長年頂いています。

★遺伝外来（月野担当：金曜日午後）

親御さんたちの切実な要望に応じて月野医師（前医長）が診療を続けています。各種染色体異常、先天奇形などの診断治療、遺伝カウンセリング（生まれてくる子どもに起きうる疾患のリスクや対応についての相談）。自助グループへの紹介など多面的な支援を行っています。

★予防接種外来（紀平担当：毎月第2・4木曜日午後）

予防接種についての相談にも応じています。



医師の紹介

小児科医長
紀平 省吾

和歌山県立医科大学 昭和53年卒業
小児科専門医 日本小児神経学会認定医

【専門・得意分野等】

専門

小児科学一般、小児神経学、小児心身医学

得意分野

神経疾患・てんかん・筋疾患

発達障害（知的障害、自閉症、注意欠陥多動性障害など）

心身症・児童精神科との近接領域

特殊技術等

短期心理療法、トラウマ治療（EMDR等）など

【医療連携医へのメッセージ】

午後は基本的に予約外来（専門外来）に充てており、一般疾患とは異なったニーズのある患者さんのための時間枠です。



泌尿器科

医師スタッフ

宮井 将博（泌尿器科医長）
渡辺 俊幸

診療科の特色

平成20年4月より常勤医2名となり休止していたESWL（体外衝撃波結石破碎）を再開しました。手術についても従来行っていた経尿道的手術などに加え膀胱癌、前立腺癌、腎癌などの開腹手術も再開しました。しかし、腎癌や腎盂癌の手術は最近では腹腔鏡手術（開腹せずカメラを使った手術）が主体となってきており、適応症例は和歌山県立医大泌尿器科に紹介させてもらっています。

外来は時間予約制をとっていますが、患者数の増加により曜日によっては混雑する場合もあり予約されていた方であっても、待ち時間が長くなることもありますのでご容赦ください。



医師の紹介



和歌山県立医科大学 平成元年卒業
日本泌尿器科学会専門医・指導医

泌尿器科医長 宮井将博

【専門・得意分野等】

前立腺癌、前立腺肥大症
経尿道的手術に自信があります





和歌山県立医科大学 昭和57年卒業
日本泌尿器科学会専門医・指導医

泌尿器科医師 渡辺俊幸



眼 科

医師スタッフ

非常勤 南出 文子
岡田 由香

診療科の特色

現在非常勤医師のみで外来診療を行っていますが、眼底検査（眼底造影検査も含む）、緑内障に関する検査（視野検査など）等、主な眼科検査は当科にて受けることができます。また、必要な患者様にはレーザー治療も行っています。

医師の紹介



和歌山県立医科大学 平成4年卒業

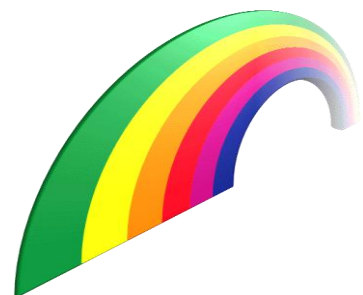
眼科医師 南出文子

【専門・得意分野等】

眼科一般

【医療連携医へのメッセージ】

他科疾患で入院された患者様が、入院中に眼科受診や点眼薬を希望されることがあります。情報提供の依頼をさせていただく場合があるかもしれませんので、その際はよろしくお願ひします。



皮膚科

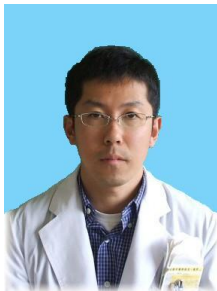
医師スタッフ

常勤 吉益 隆（皮膚科医長）
非常勤 和歌山県立医大皮膚科医師

診療科の特色

平成20年4月より皮膚科常勤となりました。開業医の先生方から皮膚腫瘍の患者さんの紹介が多い傾向にあります。そのため、毎週水曜日の午前中に、局所麻酔下でできる範囲の手術を、和歌山医大の皮膚外科専門の非常勤医と共に行っております。また、病態がわかりにくい皮膚症状の場合、皮膚生検を行い精査しております。

医師の紹介



大阪医科大学 平成8年卒業
和歌山県立医大皮膚科 臨床講師

皮膚科医長 吉益 隆

【専門・得意分野等】

膠原病による皮膚疾患（ループスエリテマトーデス等）
脱毛症
アトピー性皮膚炎
蕁麻疹

【医療連携医へのメッセージ】

びらんや潰瘍が持続する治りにくい腫瘍性病変は悪性の可能性があるので紹介してください。悪性黒色腫は皮膚悪性腫瘍の中で最も悪性です。足底、足趾に多くみられますが、体幹部、顔面などにもみられます。直径6mmを超え、色調の濃淡があり、辺縁不明瞭な黒色病変をみた場合はすぐに紹介してください。